

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-35℃ ～ 85℃ (注1)	保存温度範囲	-10℃ ～ 60℃ (注3)	
	使用湿度範囲	20% ～ 80% (注2)	保存湿度範囲	40% ～ 70% (注2) (注3)	
	電 圧	AC/DC 50V	適合コネクタ	DF80※-50P-0.5SD (##)	
	電 流	0.5 A/PIN (注4)			
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電気的 性能	接触抵抗	100 mA (DC OR 1000 Hz) で測定する。	信号：80 mΩ以下 GND：80 mΩ以下	○	—
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。	50MΩ以上	○	—
	耐電圧	AC 150 Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—
機械的 性能	繰り返し動作	30 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗 (初期からの変化量) 信号：50 mΩ以下 GND：50 mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10 ～ 55 Hz、片振幅 0.75 mmで 3 方向各 10サイクル試験する。	①1 μs 以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 490m/s ² 、持続時間 11ms、 正弦半波 3軸両方向 各3回試験する。		○	—
環境的 性能	温度サイクル	温度 -55℃ → 85℃ 時間 30 分 → 30 分 を 5 サイクル試験する。 (槽の移し換え時間は2～3分)	①接触抵抗 (初期からの変化量) 信号：50 mΩ以下 GND：50 mΩ以下 ②絶縁抵抗：25 MΩ以上	○	—
	定常状態の耐湿性	温度 40±2℃、湿度 90～95%中に 96時間放置する。	③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	二酸化硫黄	濃度 25ppm、温度 25℃、75%RH中に 96時間放置する。	機能を損なう異常のないこと。	○	—
	はんだ耐熱性	①リフローの場合 250℃MAX、240℃以上-20秒以内 220℃以上 60秒以内 ②手半田の場合 350℃、3秒以内	外観の変形及び端子などに著しいガタのないこと。	○	—
	はんだ付け性	はんだ温度 245℃、浸せき時間 5秒間 のはんだ付けを行う。 (半田:Sn-3.0Ag-0.5Cu)	はんだ浸せき面の 95% 以上が新しいはんだで濡れていること。	○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△					
備考 (注1) 通電時の温度上昇を含みます。 (注2) 結露なきこと。 (注3) ここでの保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。基板搭載後の無通電状態及び、輸送時などの一時保管状態では、使用温湿度範囲が適用されます。 (注4) コネクタ部の温度上昇のみとなり、ケーブルの温度上昇は含みません。 使用するケーブルにより定格電流値が異なります。 試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402、IEC 60512を適用している。			承認	TS. SAKATA	12. 04. 16
			検 図	TS. SAKATA	12. 04. 16
			担 当	IO. DENPOUYA	12. 04. 15
			製 図	IO. DENPOUYA	12. 04. 15
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目		図番	SLC4-338299-01		
HRS	製品規格表		製品名	DF80-50S-0.5V (51)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL662-8007-9-51	△ 1/1